令和５年度総会

令和５年７月４日

愛媛県 CLT 普及協議会

令和５年度 愛媛県ＣＬＴ普及協議会総会

日時：令和５年７月４日（火）13:00～14:00
場所：愛媛県林業会館３階小ホール
（松山市三番町４丁目４－１）

会　次　第

１開会

２会長挨拶

３来賓紹介

４議長選出

５議案審議

第１号議案　令和４年度事業報告および収支決算承認について

第２号議案　令和５年度事業計画(案)および収支予算(案)承認について

第３号議案　その他

６閉会

第１号議案　令和４年度事業報告及び収支決算承認について

１　事業報告

(1)愛媛県からの委託事業（CLT 建築物普及促進業務）

当協議会は、CLT の建築物への利用を促進するため、愛媛県からの委託事業により、下記の事業を実施した。

①　CLT 体験型講習セミナー

都市の木造化推進法（通称）の施工や一連の建築基準法の改正もあり、今後、木造化の志向はさらに高まると考えられるため、令和３年度のセミナーのアンケート結果として要望が多く、これまでこのようなセミナーなどで取り上げられることがなかった「木造建築物における耐朽性・耐候性」をテーマとして、全国的に活躍している専門家を招聘し、実務者向けの体験型セミナーを開催した。

ア　第１回

日　時：令和４年８月３１日（水）13:00～16:30
場所①：愛媛県武道館
内容①：木材の耐候性と塗装等による表面保護についての講義
場所②：株式会社カネシロ　事務所（愛媛県初の CLT 建築）
内容②：CLT の経年劣化の状況と原因・今後の対策について解説
講　師：国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所　研究コーディネーター　片岡　厚氏
木構造振興株式会社　客員研究員　原田　浩司氏
参加者：24 名

イ　第２回

日　時：令和４年 10 月 13 日（木）13:00～16:00
場　所：愛媛県林業会館３階大ホール
内　容：木造建築物の結露のメカニズム及び具体的な対策方法等について
講　師：足利大学工学部創生工学科建築・土木分野　教授　齋藤　宏昭氏
木構造振興株式会社　客員研究員　原田浩司氏
参加者：21 名

ウ　第３回

日　時：令和５年２月 16 日（木）13:00～16:30
場　所：株式会社サイプレス・スナダヤ会議室及び　東予インダストリアルパーク工場
内　容：木造ビルでも可能な防水工法の紹介及び CLT 折版構造の屋根について
講　師：田島ルーフィング株式会社市場開発部　主幹　小川　和人氏
木構造振興株式会社　客員研究員　原田浩司氏
参加者：22 名

② CLT 等木造建築物設計技術支援窓口の継続

木造の実物件に取り組む建築士に対し、CLT 利用の様々な課題への技術支援を行う窓口業務を継続した。令和 3 年度に作成した「3 階建て共同住宅に CLT を使ってみませんか」のパンフレットをもとにして、実施設計における構造設計の仕方や施工に関すること、CLT 建築の断熱性能の評価の仕方、媛トラスの構造設計の方法など、具体的案件に関する 8 件の相談があり、それぞれの専門家による指導を仲介した。

③ 非住宅分野の総合的支援の新設

CLT や媛トラスなどを使った非住宅建設に関し、主に木材の規格や調達、木材の加工及び接合方法などについての相談を 4 件受けており、協議会で対応するとともに専門家の指導を仲介した。

④ JR 松山駅への PR 活動・待合室のデザイン検討

令和 5 年度中に供用開始を計画している新しい JR 松山駅舎の内装木質化に関して、待合室に設置するベンチ、カウンターなどを対象にして、県産材を利用したデザインの検討を行った。JR 四国の担当者と協議し、愛媛県木材協会会員に委託してデザイン案（試作品を含む）を作成した。

⑤ 普及・PR 活動

CLT を使用したドーム型建築物の施工中の動画撮影を行い、協議会ホームページで公開する（https://ehimeclt.com/）ほか、「2022 えひめ暮らしと住まいフェア」に参加し、CLT パビリオン（茶室）等を展示し、CLT 建築物の普及に努めた。

(2)協議会独自事業

当協議会の独自事業として、下記事業を実施した。

① 令和 4 年度公共施設等木材利用推進研修会（愛媛県と共催にて開催）

月　日：令和 4 年 6 月 21 日

会　場：南予森林組合（鬼北町・令和 3 年 4 月竣工）

講　師：金箱構造設計事務所　金箱温春氏、株式会社 SUEP.　末光弘和氏、木構造振興株式会社　原田浩司氏、元新企画設計株式会社　柳原直和氏（当森林組合建築関係者）

内　容：CLT を使用して建築された南予森林組合事務所棟の木造化の意義や考え方と、建築にあたっての設計プロポーザル研修などの取組みについて話題提供し、今後の中大規模建築の木造化や木材利用の方向性を協議した。県市町営繕担当者など、95 名の参加があった。

研修会の内容は動画を制作し、協議会ホームページで公開した。

（https://ehimeclt.com/）

②令和 5 年版木材 PR 用カレンダーの作成

CLT 建築物と木造建築物の普及・啓発資料として活用するため、木材 PR 用カレンダーを作成し配布した。

2　令和4年度 事業実施一覧

年月日	内　　容	参加人員
R4.4.6	愛媛県から「CLT建築物普及促進業務」を受託。	---
R4.4～R5.3	CLT等木造建築物設計技術支援窓口を継続し、専門家による支援を仲介	8件
R4.4～R5.3	非住宅分野の総合的支援窓口を新設し、協議会で対応するとともに専門家の指導を仲介	4件
R4.5.9	CLTボックス建築物設計検討会の成果品パンフレット「3階建て共同住宅にCLTを使ってみませんか。」を印刷し、関係機関に配布。（1,800部） 内訳：愛媛県建築士会1,550、愛媛県建築士事務所協会200など	---
R4.5.9	南予森林組合事務所棟の建物の詳細と設計プロポーザル研修など建築に関する取組みをまとめた視察者用パンフレットを印刷し、関係機関に配布。（2,400部） 内訳：愛媛県建築士会1,550、愛媛県建築士事務所協会200、市町40、南予森林組合100など	---
R4.6.2	会計監査	監事2名
R4.6.21	愛媛県CLT普及協議会総会を開催。（鬼北町近永公民館）	43人
R4.6.21	令和4年度公共施設等木材利用推進研修会を開催。（鬼北町南予森林組合）	95人
R4.7.11	令和4年度公共施設等木材利用推進研修会の講演会動画を制作。	---
R4.8.31	第１回CLT体験型講習セミナーを開催。（愛媛県武道館・現地㈱カネシロ事務所）	24人
R4.9.22～R5.3.20	JR松山駅待合室のデザイン検討に係る設計を、合同会社木生活への委託により実施。	---
R4.10.13	第２回CLT体験型講習セミナーを開催。（愛媛県林業会館）	21人
R4.10.22～23	「えひめ暮らしと住まいフェア」（松山市）に参加し、CLTパビリオン（茶室）、CLTベンチ及びCLTサンプルを展示し普及PR。（アイテムえひめ）	200人
R4.12.12	令和５年度版木材PR用カレンダーを作成し配布。（120部） 配布先：会員、県・市町、関係団体、講師など	---
R5.2.16	第３回CLT体験型講習セミナーを開催。 （㈱サイプレス・スナダヤ　東予インダストリアルパーク工場）	22人
R5.2.27	CLTを使ったドーム型建築工事（松山市）の状況を時間経過で記録した画像や動画を作成。	---

3　会員について

当協議会事業のセミナーなどに参加する会社等へ加入を働きかけ、令和 4 年度中に 1 社が入会した。

令和 4 年度当初の会員数は６6。

新規会員の加入の承認については、その都度、役員へ書面により意見照会し、会長と協議して決定した。

〇令和 4 年 3 月 3 1 日　　会員数　６6

〇令和 4 年度　加入数　　1

〇令和 4 年度　退会数　　1

〇令和 5 年 3 月 3 1 日　　会員数　６６

収支決算書

自　令和4年4月 1日
至　令和5年3月31日

収入の部　（単位:円）

科目	4年度予算	4年度決算	増減	摘要
繰越金	247,548	247,548	0	3年度から
会　費	820,000	820,000	0	団体会費　30,000円× 8＝240,000円 個人会費　10,000円×58＝580,000円
助成金	200,000	200,000	0	愛媛県木材協会　150,000円 愛媛県林材業振興会議　50,000円
補助金	8,785,000	8,785,000	0	愛媛県委託事業（CLT建築物普及促進業務）
その他収入	452	24	△ 428	受取利息
合計	10,053,000	10,052,572	△ 428	

(A)

支出の部

科目	4年度予算	4年度決算	増減	摘要
謝金・旅費	100,000	41,800	△ 58,200	総会・研修会（外部講師）
旅費	80,000	10,280	△ 69,720	総会・研修会（役職員）
会議費	50,000	151,820	101,820	お茶・資料コピー代等
事務費	900,000	673,870	△ 226,130	ホームページ管理、研修会案内チラシ作成 愛媛県木材協会への事務費支出他
需用費	50,000	106,260	56,260	研修会横断幕・PRカレンダー
借上げ費	50,000	20,900	△ 29,100	研修会スクリーン
人件費	0	44,177	44,177	委託事業補填
雑費	27,080	40,491	13,411	研修会看板
支払手数料	0	14,245	14,245	銀行振込手数料
租税公課	10,000	10,000	0	事務委託契約書印紙代
補助事業費	8,785,920	8,785,000	△ 920	愛媛県委託事業（CLT建築物普及促進業務）
合計	10,053,000	9,898,843	△ 154,157	

(B)　△は決算が予算と比べ減額となったもの

差引	10,052,572	9,898,843	153,729	次年度へ繰越

(A)　－　(B)

ＣＬＴ建築物普及促進業務　事業明細

単位：円

区　分			単位	支出額	備 考
①体験型講習セミナー	実務型講習セミナー	報償費	1 式	394,512	講師謝金
		旅　費	1 式	774,890	講師旅費
		使用料及び賃借料	1 式	102,060	会場借上げ
		人件費	1 式	500,000	職員技術者給
		役務費	1 式	840,420	セミナー録画・編集、CPDプログラム審査費等
		需用費	1 式	161,687	資料印刷費
		小計①		2,773,569	
②支援活動	ア課題解消のための専門家派遣	報償費	1 式	141,000	講師謝金
		旅費	1 式	11,250	講師旅費
		使用料及び賃借料	1 式	0	
		人件費	1 式	450,000	職員技術者給
		需用費	1 式	0	
		小計③		602,250	
		使用料及び賃借料	1 式	33,000	
		人件費	1 式	924,000	職員技術者給
		需用費	1 式	0	
		小計③		957,000	
③JR松山駅へのPR活動	基本プランの作成等	デザイン	1 式	1,980,000	JR松山駅木製家具デザイン
		旅費	1 式	0	
		使用料及び賃借料	1 式	87,150	会場借上げ
		役務費	1 式	0	
		人件費	1 式	150,000	職員技術者給
		需用費	1 式		
		小計②		2,217,150	
④普及・PR活動	展示会出展	役務費	1 式	1,526,356	CLT運搬費、動画撮影等
		人件費	1 式	90,000	CLT運搬費等展示物組立作業
				278,607	職員技術者給
		需用費	1 式	340,068	普及用パンフレット等印刷、普及PR用機材購入等
		小計④		2,235,031	
合　　計（①＋②＋③＋④）				8,785,000	

職員技術者給合計　2,302,607

監　事　の　意　見　書

私達監事は令和４年度の理事の職務の執行状況及び協議会の経理状況を監査するため、協議会規約に従い、会長より提出された決算報告書を監査したので、次のとおり報告します。

１　収支決算書は法令及び会計原則に従い、諸帳簿は正確に管理されており適切に処理されているものと認めます。

令和　５年　６月１２日

愛媛県CLT普及協議会

監　事　　二宮　政文

監　事　　黒川　照勇喜

第２号議案　令和５年度 事業計画（案）

国においては、「CLT の普及に向けた新ロードマップ～更なる利用拡大に向けて～」に基づき CLT パネルの寸法の標準化を進めるなど、非住宅・中高層建築物への木材利用拡大に向けた取組を進めている。

本県では、これまでに CLT の特性や設計手法・施工手法・維持管理手法等に関する研修会を開催するほか、建築会社や設計者向けに普及 PR 冊子の作成や建築工程を記録した動画を公開するなど、CLT を含めた木造建築の建設促進に取り組んでいる。

今年度は、県委託事業により、CLT を使用して進行中の県内建築事例について設計・施工などに関する研修や徳島県での４階建て集合住宅の木造化の取組みについての講演を実務者向けセミナーとして開催する。継続して設計者等が企画・設計を円滑に行えるように設計技術支援窓口と、中大規模建築の木造化をサポートするアドバイザー業務を行う。

また、CLT 建築物のさらなる建設促進のため、会員等への JAS 構造材実証支援事業（国補助事業）等の補助事業に関する情報発信に努める。

さらに、協議会独自事業として、CLT 建築の県内事例から特徴的な建築物を取り上げて設計・施工を担当した感想や課題などについて聴講し、現地視察を行う。

【主な事業計画】

１　愛媛県の委託業務（CLT 建築物普及促進業務）の実施

（１）事業目的

県内における CLT 建築物の建設促進を図るため、設計実務者等を対象にした体験型セミナーの開催や専門家による建設計画策定等への技術支援や非住宅分野への総合的支援、３階建て CLT 共同住宅の推進を図るとともに、これらの取組を通じた普及・PR を行うことにより、CLT の更なる普及と需要の拡大を図る。

（２）内容

①体験型講習セミナーの開催

設計・建築に携わる実務者を対象にして、県内の CLT 建築物及び徳島県の４階建て木造集合住宅を事例に、設計・施工などに関するセミナー（講義及び演習）を開催する。

年２回開催

想定する講師　島田治男建築設計事務所　島田　治男氏

㈱WOOD GUIDE　弘島　博正氏

㈲内野設計　内野　輝明氏

②CLT 等木材利用優良建築物視察バスツアー

県内で唯一、在学中に二級建築士の資格が取れる河原デザイン・アート専門学校（インテリア・建築デザイン科）の２回生を対象に、県内の CLT 等優良建築物を巡る視察バスツアーを開催する。

③専門家による建設計画策定等への技術支援や非住宅分野への総合的支援

・CLT 等の木造建築物に関する企画から建設までの個別案件に対する様々な課題に対して専門家による高度な技術的助言を行う「設計技術支援窓口」を継続する。

・昨年度に開設した、「非住宅木造化への総合窓口」を継続し、木造化をサポートするアドバイザー業務を行い、中大規模木造の事例や木材の規格・性能・製造業者等を紹介する　とともに、木造化に必要となる木材調達などを支援する。

④３階建て CLT 共同住宅の推進

令和３年度に作成した３階建て CLT 共同住宅木造化の普及冊子を活用し、設計士、営繕担当者等を対象として CLT の使用方法や留意点及び具体的な基本設計の作成に関する研修会を開催する。

⑤ＣＬＴの普及・ＰＲのための活動

建築関係の展示会に出展し、県産材 CLT の普及・PR 活動を行い、需要の拡大を図る。

2　CLT 普及のための活動

・CLT 普及に向けた資料の作成、購入、配布等

・関係団体の事業との連携

3　CLT 建築物等の現地視察や、講演会の開催

・愛媛県歯科医師会館や新日本建設㈱製材工場の現地視察とともに、設計・建築に携わった技術者による講演会の開催を行う。

4　愛媛県木材協会が実施する「JAS 構造材実証支援事業（国補助事業）」及び「外構部の木質化対策支援事業（国補助事業）」との連携

標記事業を活用し、JAS 構造材の対象となる CLT の利用拡大を図るため、愛媛県木材協会と連携して、建築・外構木質化に取り組む事業者を支援する。

令和５年度スケジュール(案)

日　　程	内　　容	備　　考
R5.4.12	○県委託事業「ＣＬＴ建築物普及促進業務」の契約	（県委託事業）
R5.4～R6.3	○ＣＬＴ等木造建築物設計技術支援窓口による技術支援	（県委託事業）
7 月 4 日	○令和 5 年度総会の開催	
7 月 4 日	○CLT 建築の県内事例に関する講演会の開催	（JAS 構造材利用拡大事業（国補助））
7 月 20 日	○CLT 等木材利用優良建築物視察バスツアー	（県委託事業）
8 月	○第 1 回体験型セミナーの開催（令和 5 年度公共施設等木材利用推進研修会との併催）	（県委託事業） （愛媛県との共催）
9 月	○CLT 建築物構造見学会の開催	（県委託事業）
10 月	○ＣＬＴ建築物の展示(マイホームフェスタ等)	（県委託事業）
12 月	○３階建て CLT 共同住宅の建設促進活動	（県委託事業）
令和 6 年 1 月	○第 2 回体験型セミナーの開催	（県委託事業）
2 月		
3 月		

※適宜、役員会を開催

収支予算書（案）

自　令和 5年4月　1日
至　令和 6年3月31日

収入の部

（単位:円）

科目	4年度予算	5年度予算	増減	摘要
繰越金	247,548	153,729	△ 93,819	4年度から
会　費	820,000	820,000	0	**団体会費　30,000円× 8＝240,000円** **個人会費　10,000円×58＝580,000円**
助成金	200,000	200,000	0	愛媛県木材協会　150,000円 愛媛県林材業振興会議　50,000円
補助金	8,785,000	7,819,000	△ 966,000	愛媛県委託事業（CLT建築物建設促進事業）
その他収入	452	271	△ 181	受取利息等
合計	10,053,000	8,993,000	△ 1,060,000	

(A)

支出の部

科目	4年度予算	5年度予算	増減	摘要
謝金・旅費	100,000	100,000	0	総会・研修会（外部講師）
旅費	80,000	80,000	0	総会・研修会（役職員）
会議費	50,000	50,000	0	お茶・資料コピー代等
事務費	900,000	750,000	△ 150,000	ホームページ管理・郵便送料・人件費等
需用費	50,000	110,000	60,000	PRカレンダー等
借上げ費	50,000	50,000	0	会議室使用料等
雑費	27,080	23,100	△ 3,980	研修会看板等
租税公課	10,000	10,000	0	事務委託契約書印紙代
補助事業費	8,785,920	7,819,900	△ 966,020	愛媛県委託事業（CLT建築物建設促進事業）
合計	10,053,000	8,993,000	△ 1,060,000	

(B)

△は前年度予算からの減額

差引	8,993,000	8,993,000	0	

(A)　－　(B)

ＣＬＴ建築物普及促進業務　事業費明細

積算内訳　　単位：円

区分			内容	数量	単位	単価	金額	備考
①体験型講習セミナー	体験型講習セミナー（3回）	報償費	講師謝金(4h)	6	人	47,000	282,000	県外講師2名×3回
			講師謝金(4h)	3	人	21,000	63,000	県内講師1名×3回
		旅費	講師旅費	6	人	85,000	510,000	東京－松山
			講師旅費	3	人	6,000	18,000	松山ー新居浜
			講師打合せ	2	人	72,000	144,000	東京ー松山
			県内打合せ	6	日	5,000	30,000	
		使用料及び賃借料	会場使用料	3	回	24,000	72,000	林業会館
		人件費	事務補助	20	日	7,000	140,000	
		役務費	切手代	100	枚	120	12,000	
		需用費	印刷・製本費	1	式	15,000	15,000	
			消耗品費	1	式	25,000	25,000	
		小計①					1,311,000	
②支援活動	ア課題解消のための専門家派遣	報償費	講師謝金(4h)	18	人	47,000	846,000	県外講師　3名×2件×3回
		旅費	講師旅費	18	人	72,000	1,296,000	東京－松山
			講師打合せ	7	人	72,000	504,000	東京－松山
			県内打合せ	7	日	5,000	35,000	
		使用料及び賃借料	会場使用料	6	回	15,000	90,000	林業会館 2件×3回
		人件費	事務補助	40	日	7,000	280,000	
		需用費	消耗品費	1	式	15,000	15,000	
		小計②					3,066,000	
	イ住宅分野の総合的支援	使用料及び賃借料	会場使用料	6	回	15,000	90,000	林業会館 2件×3回
		人件費	アドバイザー	120	日	7,000	840,000	
		需用費	消耗品費	1	式	15,000	15,000	
		小計③					945,000	
③3階建共同住宅の推進	研修会等建設促進活動支援	報償費	講師謝金(4h)	3	人	47,000	141,000	県外講師1名×3回
			講師謝金(4h)	3	人	27,000	81,000	県内講師1名×3回
		旅費	講師旅費	3	人	72,000	216,000	東京－松山
			講師打合せ	3	人	72,000	216,000	東京－松山
			県内打合せ	3	日	5,000	15,000	
		使用料及び賃借料	会場使用料	1	回	15,000	15,000	林業会館
		役務費	切手代	100	枚	120	12,000	
		人件費	事務補助	10	日	7,000	70,000	研修会準備
		需用費	消耗品費	1	式	15,000	15,000	
		小計④					781,000	
④普及・PR活動	展示会出展	役務費	躯体組立・撤去	1	式	450,000	450,000	県内：マイホームフェスタ
		人件費	事務補助	13	日	7,000	91,000	
			賃金	7	日	10,000	70,000	CLT展示躯体設置・撤去（延べ日数）
		需用費	印刷・製本費	1,000	部	375	375,000	普及用パンフレット
			消耗品費	1	式	20,000	20,000	
		小計⑤					1,006,000	
合　計（①＋②＋③＋④＋⑤）							7,109,000	⑥（税抜き）
消費税及び地方消費税相当額							710,900	⑦＝⑥×0.1
総　計							7,819,900	⑧＝⑥＋⑦